

# KUMANO JOURNAL

しんどいけど、気持ちいい!



## Green Tourism

山、滝、川、巨岩、巨木、海  
自然が創った聖地に  
人が寄り添って共存してきた、熊野。  
山が海に落ちこちているかのような地形に  
踏みめぐらされた無数の道。  
それは生活の道、巡礼の道、海の道、獣の道  
ロハスな暮らしと熊野の人に  
出会う旅をしよう。



- ★p1 熊野でがんばる人と歩く、デイトリップ「熊野古道伊勢路 新鹿から大泊」
- ★p4 秋の熊野グリーン・ツーリズムツアー ON 熊野旅マップ
- ★p6 熊野のいいとこ「脱力系パワースポット」
- ★p7 熊野へ来たら、ここおいで「神川みんなのがっこうぶろじえくと」他
- ★p8 MADE IN 熊野 超地元密着型カタログ「kumano style」

「奥熊野」なら両方できます。  
「奥熊野」とは、現在の三重県熊野市周辺のエリア。都の人が紀伊路で目指した熊野三山の奥に広がる自然豊かな土地です。江戸期に入ると、お伊勢参りのあとに熊野詣をする人が増え、伊勢神宮と熊野三山を結ぶ熊野古道伊勢路が「蟻の熊野詣」と呼ばれるほどに賑わいました。

海に行くってまずか？  
山に行くってまずか？  
海に行ってますか？  
最近行ってないなあ・・・という人も、毎週行ってる！という人も、みーんなウエルカム！な熊野より、季刊でローカルネタをお届けします。



石畳や道沿いの石垣、岩や木に宿った苔は、水を含むとさらに輝く。雨上がりの森が気持ちいい!



伊勢路は、屋久島に次ぐ降雨量を誇る尾鷲を経て海沿いの山道を南下する道。その魅力はなんととっても時おり望む広大な海と、雨から道を守るために築かれた石畳です！  
山の緑は心を落ち着かせ、海の青は心を明るくしてくれる。熊野古道を歩いて、山と海に逢いにきませんか。そして里の人と暮らしにも出逢ってもらいたくて、熊野グリーン・ツーリズムを紹介します。



熊野でがんばる人と  
歩く、デイトリップ  
VOL. 1  
熊野古道伊勢路  
新鹿から大泊

今回、夏の雨上がりに一緒に歩く「熊野でがんばる人」は“熊野古道語り部友の会”と“くまの体験企画”で熊野古道ガイドとして活躍している植野めぐみさん。どんなに歩いても息を切らさず楽しい話題とケアをしてくれる、頼もしい若手ガイドさんです。



JR新鹿駅のカラーはピンクと薄緑。準備体操をしたら、ノスタルジックな無人駅を出発！



新鹿の集落の急な小道を降りると、目の前に白い海水浴場の砂浜が！綺麗な遠浅の入江。



海沿いにたたずむ徳司神社にお参りしていこう。神殿の横にそびえる大きなクスノキと神社の森のおかげで涼しい！海の丸石が積み重なった石垣など見応え十分。「よい1日になりますように♪」



伊勢路で一番古いといわれる鎌倉時代の石畳を歩いてしばらく進むと、一気に視界が開けて気分◎！秦の始皇帝の命で不老不死の薬を求めて船出した徐福が上陸したと伝わる波田須に到着。こんもりしたところが「徐福の宮」。秦時代の半両銭が出土したところで、今も里の人に「徐福さん」と親しまれています。寄り道してみてください！

ところどころにある「熊野古道」の道標を見つけながら静かな集落のを歩く。すると、古道沿いに可愛い風ぐるまが♪



少し山道を歩くと素朴な庚申様の祠が。歩かなければ出会えないものの1つ。すぐ上の国道311号線をしばらく歩く。

峠を越えて、浦里から浦里へ  
このあたりは、当時の巡礼者にとっては、伊勢神宮から約6日歩いてきて熊野三山までもう一息といったところ…。巡礼の道であると同時に、新鹿・波田須・大泊の浦里をつなぐ生活の道だから、魚を売る人、炭を焼く人、隣りに逢いたい人がいたり、往来がにぎやかだったろうなあとちょっと想像して歩くと、一味違った山歩きに！これが熊野古道の醍醐味です♪



波田須湾を一望する天女座カフェで一休み♪



波田須トンネルの上の山道に入ると、何層にも重ねられた強固な石畳道。昔の人の技術に感動。

「国は違っても、いにしえの道は海を越え陸を伝ってつながっています。」



**植野めぐみ  
(熊野古道ガイド)**

三重県津市出身。尾鷲市にIターンし、いにしえのルートを伝って旅することをライフワークとして、活動中。現在、フランス南部サンジャンビエードポーからサンティアゴ巡礼のゴール・フィステラまでの約900kmを、昨年から3回の渡航に分けて歩いており、巡礼の年である今年の10月にゴール予定。植野さんのブログは、<http://ameblo.jp/ancient-journey8-9/>

**サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路 (世界遺産)**

スペイン北西部のサンティアゴ・デ・コンポステーラの大聖堂へいたる巡礼路。主にフランスからピレネー山脈を経由しスペイン北部を通る道を指す。ルート沿いには巡礼宿が充実。巡礼者は巡礼のシンボルであるホタテ貝を身につけて歩く。道の世界遺産としては熊野古道に先駆け1998年に登録されている。世界中から集まる巡礼者の目的は、信仰、文化、旅、歴史、建築など様々。黄色いホタテと矢印が道中の目印。



駅近くの段々畑。「熊野の石垣は、マチュピチュみたい！」とシャッターを切る植野めぐみさんの想像力は世界規模！



JR波田須駅ホームからの景色は、青春18きっぷのポスターのよう。



まるで迷路のような波田須の集落！家の生垣になってるのは、徐福が探し求めていたといわれる、天台烏薬という薬草。



大吹峠道は竹林の道。コーンコーンと風が竹を鳴らす音が心地いい…。

山の中をよ〜く見て歩いて。コケがびっしり宿った巨岩や田んぼや家の跡があったり、きっと色々な発見があります。



しばらく国道を歩いたら峠越え！大吹峠入口には東屋とトイレ有。小さな仏様が見守ってくれています。



**参考ノート**

行程：JR新鹿駅→波田須の道→大吹峠→JR大泊駅(約3時間)  
 ガイド依頼：①熊野古道語り部友の会事務局  
 TEL:0597-89-6172  
 ②くまの体験企画 TEL:090-7865-0771  
 登場した休憩処：①天女座 TEL:0597-86-1024  
 営業日：金・土・日・祝  
 ②ほくしょう TEL:0597-89-5018  
 定休日：第2・第4月・火曜日  
 ※大体の位置は次頁のMAPを参照。  
 ※東紀州ポータルサイト「くまどこ」でくわしい地図をダウンロードできます。  
<http://www.kumadoco.net/kodo/map/index.h>

ここから松本峠を越えれば熊野三山が遠望できるけど、夏の古道歩きでかなりデトックスしたので今日は終わり。海岸近くの地魚が食べられる店「ほくしよう」へ。古道歩きのアとは水もビールもおいしい！明日からまた、がんばろう。



大泊海水浴場の海！裸足になって疲れを癒そう。